

JC PRESS 夏号

発行所／社団法人 京丹後青年会議所 編集／広報委員会

社団法人 京丹後青年会議所 2012年度スローガン

まちを照らす光となれ!

～自らの成長が地域に希望を与える～



JCI 社団法人 京丹後青年会議所
2012年度理事長 沖田真奈美

「ごあいさつ」

平素は私ども社団法人京丹後青年会議所に対しまして、温かいご支援・ご協力を賜りありがとうございます。

さて、間もなく8月、夏本番を迎えます。中国の陰陽五行思想では、季節を人生に例え、春は青春、夏は朱夏、秋は白秋、冬は玄冬と置き換えています。未熟ながらも勢いよく伸びる青春時代から、身を立て一人立ちし、人生真つ盛りを迎えるのが朱夏、考えが深まり人生の実りを収穫する熟年期が白秋、そして得たものを次代へと伝承し、芽吹くための土壌作りをするのが玄冬と言われています。

年齢で言えば、私ども青年会議所のメンバーはこの朱夏と言われる段階にいます。真つ赤な夏は私達の今の人生そのものです。次に迎える時代に多くの実りと収穫をするために今この時を精一杯過ごしたいと思ひます。

本年度は「まちを照らす光となれ!」自らの成長が地域に希望を与える」のスローガンを掲げ活動を行い、残すところあと5ヶ月となりました。これまで地域の皆様には各事業を通じて本当に多くの温かいご支援を頂いて参りましたことに御礼申し上げますとともに、引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

JC PRESS 夏号

丹後の なでしこ対談

(社)京丹後青年会議所では、地域で頑張る人達とネットワークを積極的ににつくり、更に絆を深めて参りたいと考えています。広報委員会では、行政・各種団体と互いの思いを共に語り合う場を設け、その様子を市民の皆様にも広く発信して参ります。

今号は、丹後のなでしこ対談と題しまして、文化を切り口に地域活性化に取り組んでおられる、京都府丹後文化会館館長 西村まさみ氏と、丹後初のFM局として地域の魅力発信に努めておられる、京丹後コミュニティ放送局長 宮川優氏、(社)京丹後青年会議所 理事長 沖田真奈美で、丹後の魅力の創造・発展、京丹後のまちづくりについて語って頂きました。

丹後の魅力について

沖田 本日はお忙しい中、お時間を頂戴し、ありがとうございます。今日は女性ばかりの対談ですし、柔らかな雰囲気です。丹後のことについて語り合えればと思います。さて私達の暮らし丹後には、豊かな自然や美味しい食べ物などの多くの魅力があると思いますが、その他にお二人が感じられる丹後の魅力はどのようなものでしょうか。

丹後の発展のために

沖田 丹後の魅力の一つは人であると同じでしたが、少子高齢化や人口減少が急速に進んでいる中、私達青年の役割はとも

宮川 やっぱり人ではないでしょうか。恐らく丹後の人は、特におもてなしの心が優れているように感じますね。おもてなしというのはマニュアルがあつてやるものではなくて、心からこうしてあげたいという思いでやることですから、その部分が他の地域とは違うのかなと思います。

西村

そうですね。30年振りに帰郷した私が感じるのは丹後の人は人間がすてきな感じがします。とても素直な感じを受けますね。また、地方特有なのかもしれません。丹後の方とお話をしているとき、とても心温かい感じがします。京阪神からの友人や知人も声をそろえて、丹後を訪れた感想に「人間のよさ」を入れ、また訪れたいと言います。

西村 先程、丹後は人が魅力の一つであるとお話がありました。丹後の女性はどうも我慢強く元気があつた感じがします。何にでも挑戦して、やってみたいという目という感じがあつた感じがします。そういう部分もあつた感じがします。丹後の女性魅力だと思います。

宮川 そうですね。私は宮津市から京丹後に来ているのですが、京丹後で感じるの

西村まさみ氏

財京都府丹後文化事業団
事務局長兼文化会館館長

2010年に現在の役職に就任

丹後地域における豊かな文化の振興及び普及に尽力され、毎年京都府の3つの文化会館と協力し文化芸術祭も開催されている。



宮川 優氏

NPO法人 京丹後コミュニティ放送
局長

担当番組

たんご・モーニング・サント!

たんごメッセージ・サント! 他

京丹後市の広報誌「広報きょうたんご」でコラム「宮川優のたんご優遊見聞録」も担当。



沖田真奈美

(社)京丹後青年会議所
第47代理事長

株式会社 アウルコーポレーション
副社長

京丹後青年会議所初の女性理事長として日々まちのために情熱を燃やす。



宮川 私は職業柄、多くの方に話を聞く機会があるのですが、長引く景気低迷で、京丹後の皆さんの気持ち自体が沈んでしまっている感じがします。インタビューをして、出てくる言葉はマイナスの言葉がほとんどです。それを聞いた方も、駄目なんだと思ひこんでしまふし、それが連鎖反応で広がっていくと地域全体の気分も更に沈みます。つらくても明るい表情や態度、苦しい中でもプラスの気持ちで頑張っているという意識改革が必要なのではないかと思ひます。

西村 確かにそうかもしれ

沖田 世代を超えての繋がりを持つということも大切ですね。若者世代とご年配の方々が交流していくことで先人達の貴重な経験は活かされてくるものだと思います。またそういった中に、丹後がもつと元気になるような発見があるかもしれません。京丹後青年会議所でも、私達からご年配の方々にもしっかりとお話を聞いて、交流し繋がりが持てる機会を設けていきたいと思います。



裏面へ続く

丹後の
なでしこ対談



TANGO
NADESHIKO
conversation

絆づくり

沖田 今年度の私達の活動の大きなテーマの一つに人と人との絆づくりというものがああります。様々な方と交流して、まずは繋がり、災害などが起きたときには、電話一本ですぐに助け合えるようなネットワークづくりを日頃からしていきたいと考えています。上辺だけでなく心が通い合った関係づくりが、今後ますます大切になってくるのではと感じています。

宮川 私達は、ここ3年、年間100名近いゲストの皆様にお越し頂いて対談などを行いましたが、今後はせっかく来て頂いた一人ひとりとしっかり繋がりていきたいと考えています。そうすることで何かのときにはこの人に声をかけたら良いんだなというのがある、助かりますよね。声をかけて頂いた方も嬉しかったり、そこで繋がりが出て、更に関係も深まるのではないのでしょうか。また、それを聞いているリスナーの方と繋ぐ、ということも私達コミュニティ放送の仕事だと思っています。様々な人と関わり、繋がりを深めていくことで何か新しいものが生まれるかもしれないですね。

沖田 ありがとうございます。本日はそれぞれのお立場で、とても有意義な時間を持てました。今回の出会いをきっかけに今後更に良い関係づくりを進めていければと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。お忙しい中、本当にありがとうございます。

西村 丹後文化会館は今年33年目なのですが、心の豊かさが無かったら人間づくりはできないという思いで設立当初から様々な事業に取り組みました。京都府には長岡京、中丹、丹後と3箇所の文化会館があります。その3つがネットワ



第5回 小学生ウルトラクイズ in 京丹後

～明るく!楽しく!元気よく!羽ばたけ京丹後の子ども達～



6月17日、今年で5回目を迎えた「小学生ウルトラクイズ in 京丹後」を京丹後市内の小学5・6年生、138名に参加して頂き開催致しました。この事業は、京丹後市内各所を貸切バスで移動しながら、クイズを通して丹後の歴史や文化等を学び、郷土愛を育てていくことを目的として開催しています。更に、普段触れ合うことの少ない他校の友達や大人達と行動を共にする中で、相手に対する思いやりや感謝の心を持つことの大切さを学んで頂くことも大きな目的の一つとしています。



にメモを取り、解説に耳を傾ける子ども達の真剣な姿を見て、この事業開催の意義を改めて感じる事ができました。特に今回は、丹後の素晴らしい自然環境を活かした農業を営まれている方にもお話を聞き、自分達の日々の生活には欠かせない食についても考える機会をつくりました。机上で学ぶだけでなく、現地に行き、自分の目で見て、触れて、その場の空気を感ずることで、子ども達の記憶に丹後の素晴らしい魅力がより一層強く残ったものと思います。この事業で、自分のふるさとに関心を持ち、将来もこのまちで暮らしたいという子ども達が一人でも多く出てくれば幸いです。



主催/京丹後青年会議所 後援/京丹後市教育委員会

協力/NPO法人 エコネット丹後 NPO法人 京丹後コミュニティ放送 京丹後市商工会女性部 京丹後市商工会青年部 京丹後メディアクラブ TNG (Tango Next Generation)

協賛/株式会社 安達住設(フロレスタ京都河原町店) コカ・コーラ ウエスト株式会社 セントラレー・ホテル京丹後 タケチャンファーム 京丹後農業公園 丹後あじわいの郷 株式会社 丹後乳販 富田電気通信株式会社 (auショップ) 株式会社 にしがき プラザホテル吉翠苑 株式会社 マルハン プラザアピア峰山 峰山商業開発株式会社 株式会社 山本商店 株式会社 淀徳商店

編集後記

京丹後青年会議所新聞の夏号を発行するにあたり、ご協力を賜りました、京都府丹後文化会館 西村館長様、京丹後コミュニティ放送 宮川局長様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報委員会では、この京丹後青年会議所新聞を発行することで、私達の活動を地域の方々に少しでも知って頂き、市民の方々と手を取り合って共にまちづくりを行っていくための一つのきっかけにしたいと考えております。次号は12月に今年度の最終号として発行を予定しておりますので、是非ご覧頂きたいと思ひます。

今後とも京丹後青年会議所新聞を何卒よろしくお願い申し上げます。

本年度、(社)京丹後青年会議所では「JCプレス」を京丹後市のご家庭に新聞折込させていただきます。※季刊誌として年内3回発行(1月・7月・12月)を予定

記事に関するご意見、ご質問等ございましたら(社)京丹後青年会議所/広報委員会までお寄せください。

〒627-0041 京丹後市峰山町菅373番地 ふきあげビル4階401号

TEL.0772・62・3153 FAX.0772・62・3120

info@kyotangojc.com

www.kyotangojc.com

京丹後JC WEB 京丹後JC 検索

「一生の友に出会える」

人は誰でも、悩み判断に迷う時には誰かに相談したくなるもの。それが会社経営のことなら尚更だ。そんな時、自分と同じ立場で相談できる友がいる。それだけでもきっとあなたは救われるはず。かけがえのない一生の友ができる。あなたの入会をお待ちしています。



JCI 京丹後青年会議所
会員募集中

JC PRESS
夏号

巷談

安価で庶民的な食べ物「B級グルメ」を使用

したまちおこしイベント「B・1グランプリ」が、2006年から地域活性化を目的として開催されている。青森県八戸市から始まり、7年目となる今年は福岡県北九州市で開催される。出店数は第1回目10店、入場者数1万7千人だったのが、5回目では63店、51万5千人にまで増えている。B・1グランプリに参加することで、これまで知らなかった地元だけのグルメを全国にPRできる最大級のチャンスになり、そして、優勝した団体は一気に知名度が上がり、その団体のある地域に経済効果をもたらしている。最近のまちおこしといえば、文化施設などの箱物といったお金がかかる物を作り、観光客を呼ぶのではなく、「讃岐うどん」「間人ガニ」などの食材を地域のブランドにしたり、「せんとくん」「ひこにゃん」といったゆるキャラを作って、地元をPRするお金のからない方法が主流となっている。どの地域も「地元に来てもらいたい」「地元の名産品を食べてもらいたい」の思いで色々なアイデアを考え出し、まちおこしをして地域活性化を図っている。私達のまちでも「日本中でここしかないモノ」を探し出し、一過性で終わるのではなく持続性のあるまちおこしができる素晴らしいことだと思ふ。